

## 必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。  
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (78,000円) 上記は2024年11月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。

◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5年用 11,000円 / 10年用 16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) このご旅行には2025年7月1日以降のパスポート有効期限が必要です。(+2週間以上の有効期限が望ましい)

◆お一人部屋追加料金: 55,000円 (ホテルは基本2名一室です)  
※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。

◆任意の海外旅行保険  
◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金  
◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)  
◆ご自宅～発着空港までの交通費



## ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2024年9月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除  
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。

<取消料>  
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。  
<解除時期・取消料>

契約の解除期日	
41日目にあたる日以前の解除	無料
31日目にあたる日以前の解除	旅行代金の10%
30日目にあたる日以降の解除	旅行代金の20%
29日目にあたる日以降の解除	旅行代金の50%
当日の解除	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

## ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの  
①企画手数料金および手配料金 ②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金、列車料金 ③宿泊費: 下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準)の基本宿泊料および税、サービス料 ◆ワルシャワ=NOVOTEL ◆クラクフ=Andels(基本2名一室) ④食事代: 旅程表明治 ⑤見学施設の入場料  
⑥現地協力者の謝礼・同行費用 ⑦講師謝礼・同行費用  
⑧添乗員1名同行費用 ⑨視察費用

■旅行代金に含まれないもの  
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等  
②個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等  
③航空会社が課す日本港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃78,000円(2024年11月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。  
④お一人部屋料金: 55,000円  
⑤日本国内の交通費、前泊の費用  
⑥海外旅行傷害保険料  
⑦オプションツアー代

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員 ●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで


**株式会社 富士国際旅行社** 〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4  
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理  
営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00 (休業日: 土日・祝日)  
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>  
TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201  
henshu@fits-tyo.com 担当: 山田・金光・西須

## お申込方法

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**(旅行代金内金)をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)
- ④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。 ⑤出発2週間前に旅行説明会を行います。

株式会社 富士国際旅行社 宛 き・り・と・り

**参加予約票** 東京都学校生活協同組合企画 コルチャック先生の足跡を訪ねるポーランドの旅 2025年3月22日(土)発

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日生 ( )才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券(パスポート)【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 - )			
連絡先	【tel】 ( ) - ( )	【fax】 ( ) - ( )		
	【携帯】 -			
	【e-mail】			

# 東京都学校生活協同組合企画 東京都教職員組合後援 新協建設工業株式会社協賛



## 「子どもの権利条約」批准30年! コルチャック先生と アンネフランクの足跡を訪ねる ポーランドの旅

**旅行期間** 2025年3月22日(土)～3月31日(月)10日間

**旅行代金** 665,000円 ※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・空港施設使用料・保安料が別途78,000円かかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

**定員** 20名様 (最低実施人員15名) **添乗員** 羽田空港から同行します

**申込締切** 2025年2月3日(月)

## POINT!

ポーランドは、コルチャックの足跡を今に残しています。孤児院「ドム・シュロト」、コルチャック記念館、ユダヤ人基地(記念理)、ワルシャワゲットー跡地(ゲットー記念理)、ユダヤ博物館、トレ布林カ絶滅収容所などです。孤児院が最後にあった場所(ゲットー)には、コルチャックと子どもたちの像、記念理があります。そこには「医師であり、作家であり、子どもをいかに愛し、理解し、尊重すべきかを教えた教育者」と刻まれています。「子どもの権利条約」批准30年の節目に、「コルチャック先生の足跡を訪ねる旅」を企画したいと考えています。今もなお、戦火の中で命を奪われている子どもたちが跡を絶ちません。子どもの人権とは何かを、改めて考える必要があります。

### 事前学習会

- 1月27日(月) 14:00～16:00 「アンネフランク」 講師: 工藤さん
- 2月6日(金) 14:00～16:00 「コルチャック先生と子どもの権利」 講師: 札幌国際大学 特任教授 塚本智宏さん

# 日程表

	都 市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)
① 3/22 (土)	羽 田 集 合 羽 田 空 港 発	航空機	羽田空港集合(21時30分ごろ集合予定)※出発は羽田、帰国は成田空港 空路、経由地ドーハへ <b>機 中 泊 B× L× D機</b>
② 3/23 (日)	ド ー ハ 発 ワ ル シ ャ ワ 着 ワ ル シ ャ ワ 市 内	航空機 専用車	乗換え、空路、ポーランドの首都ワルシャワへ 到着後、ワルシャワ市内へ 午後:ワルシャワ市内見学 *旧市街 *ゲットー英雄の碑 *ワルシャワ蜂起記念碑 夕食は参加者交流会 <b>ワ ル シ ャ ワ 泊 B機 L× DO</b>
③ 3/24 (月)	ワ ル シ ャ ワ	専用車	終日:ワルシャワ市内見学 ※コルチャック先生の足跡をたどるコース(順不同)、(一部外観) *生家 *通った小学校 *ワルシャワ大学医学部 *孤児院跡 *ユダヤ人墓地 *ワルシャワ蜂起博物館 *ポーランドユダヤ人歴史博物館 *ゲットー跡 *駅の跡 <b>ワ ル シ ャ ワ 泊 BO LO DO</b>
④ 3/25 (火)	ワ ル シ ャ ワ 発 ト レ ブ リ ン カ 着 ワ ル シ ャ ワ 着	専用車	専用車でトレブリンカへ移動(所要約2時間) *コルチャック先生と子どもたちが送られたトレブリンカ強制収容所跡 見学後、再びワルシャワ市内へ <b>ワ ル シ ャ ワ 泊 BO LO DO</b>
⑤ 3/26 (水)	ワ ル シ ャ ワ 発 ク ラ ク フ 着	列 車	陸路、列車でクラクフへ(所要約2時間) 午後<クラクフ市内見学> *バルバカン *中央広場 *聖マリア教会 *バベル城 <b>ク ラ ク フ 泊 BO LO DO</b>
⑥ 3/27 (木)	ク ラ ク フ 発 オ シ フ ィ エ ン チ ム 着 ク ラ ク フ 着	専用車	専用車でオシフィエンチムへ 午前:アウシュビッツ強制収容所跡見学 午後:ビルケナウ強制収容所 <b>ク ラ ク フ 泊 BO LO DO</b>
⑦ 3/28 (金)	ク ラ ク フ		午前<クラクフ市内見学> *カジミエシュ・ユダヤ人街 *プワシュフ強制収容所跡 *ゲットーの壁 *シンドラー博物館 昼頃の列車にて、ワルシャワへ(昼食は各自購入・列車の中で) 夕方、ワルシャワ到着 <b>ワ ル シ ャ ワ 泊 BO L× DO</b>
⑧ 3/29 (土)			終日:自由行動 OP:シヨパンとキュリー夫人の足跡めぐり ※別途ご案内 夜:夕食交流会 <b>ワ ル シ ャ ワ 泊 BO L× DO</b>
⑨ 3/30 (日)	ホ テ ル 発 ワ ル シ ャ ワ 発 ド ー ハ 発	専用車 航空機 航空機	空港へ(午前7:00ホテル発) 空路、経由地ドーハへ 乗換え、空路帰国の途へ <b>機 中 泊 B弁 L× D機</b>
⑩ 3/31 (月)	成 田 空 港 着		成田空港到着(12時30分頃到着予定) <b>B機</b>

●現地の都合により、訪問順序・日時が入れ替わる場合がございます。  
【旅程表のマーク】:B=朝食、L=昼食、D=夕食、機=機内食、弁=お弁当  
OP=オプションツアー、●=入場して見学、◎=外観を見学  
【利用予定航空会社】:カタール航空



※写真はすべてイメージです

## 「子どもの権利条約の父」コルチャック先生

ユダヤ系ポーランド人のヤヌシュ・コルチャック(本名ヘンリック・ゴールドシュミット)は、子どもたちのために生涯を捧げた医師、作家、教育者です。また、「子どもの権利条約の父」とも呼ばれています。コルチャックは、1911年にユダヤ人孤児のための孤児院「ドム・シエロト」やポーランド人孤児のための「ナシユドム」などの運営を通じて、子どもたちの教育に力を尽くしました。孤児院では子どもたちによる議会が作られ、意見を発表する新聞を発行するなど、子どもたちの自治が尊重されました。

第二次世界大戦中、コルチャックは孤児院の子どもたち約200人と一緒にトレブリンカ強制収容所に送られました。そこで非業の死を遂げます。

コルチャックは、「子どもは生まれたときからおとなと同じ一人の人間であり、その権利が尊重されなければならない」という考えを生涯貫きました。その思いを世界に発信したのがポーランドです。コルチャックの精神が国連総会で採択された「子どもの権利条約」に受け継がれたのです。



## 訪問地紹介

### ●トレブリンカ強制収容所 Treblinka

#### アウシュビッツの第二収容所と呼ばれた絶滅収容所

トレブリンカ強制収容所は、ワルシャワから北東に約90キロメートル離れた小さな村の近くに建設された絶滅収容所です。1942年7月23日の開所から1943年10月19日に放棄されるまでの約14か月の間に、70万人~90万人のユダヤ人と2000人のロマが殺害されたと推定されています。



収容所は証拠隠滅のためナチスによって徹底破壊され、当時の建物は一つも残っていません。現在の収容所跡地には鉄道引き込み線や犠牲者の持ち物などを焼却した縦穴、ガス室の存在を示す煙突がいくつか覗いていますが、いずれも復元されたものです。しかし、移送されたユダヤ人たちが降り立ったプラットホーム跡、収容所へ向かう鉄道の支線が通されていた獣道、多くの慰霊碑や記念碑などが当時の面影をしのばせています。

### ●ワルシャワ・ゲットー Getto Warszawskie(Warsaw)

#### ユダヤ人隔離地域

ワルシャワ・ゲットーは、第二次世界大戦中にナチス・ドイツがポーランドのワルシャワ市内に設置したゲットー(ユダヤ人隔離地域)です。ナチスが創設したゲットーの中では最大規模です。ゲットーでは強制移住させられたユダヤ人が飢えと不衛生に苦しめられ、わずか2年ほどで8万人以上がなくなるとされています。また、ワルシャワでは第二次世界大戦中、1943年にゲットーのユダヤ人レジスタンスがナチス・ドイツに対して起こした「ワルシャワゲットー蜂起」と、1944年にナチス・ドイツの支配に対してワルシャワ市民が立ち上がった「ワルシャワ蜂起」の2つの武装蜂起が起こりました。ワルシャワ蜂起博物館や、記念碑などの見学を通して歴史を学びます。



### ●アウシュビッツ強制収容所 Auschwitz(Oswiecim)

#### ナチス・ドイツの絶滅収容所

1940年クラクフの西60kmのオシフィエンチムに築かれたナチスの絶滅収容所。ソ連軍によって解放されるまで、ユダヤ人をはじめ約110万人以上の人々が虐殺されました。

現在は博物館として復元され、ドキュメント映画や入口の門「ARBEIT MACHT FREI(働けば自由になる)」、没収された収容者のカバンや靴、髪の毛など様々なものの展示がされている「収容棟」、ガス室、焼却炉などが見学することができます。



アウシュビッツ強制収容所・死の壁

### ●ビルケナウ収容所 Birkenau(Brzezinka)

#### アウシュビッツの第二収容所と呼ばれた絶滅収容所

アウシュビッツの第2収容所として建設されました。アウシュビッツから2km程離れており、広大な敷地を占めています。アウシュビッツ強制収容所の約10倍の1.75平方kmの面積に、300棟以上のバラックが並び、さらに大規模な一大殺戮工場でした。

収容者が運ばれてきた列車の引込み線が、まっすぐに敷地内へ伸び、線路が行きつく先には破壊されたガス室と焼却炉の跡が残っています。



## Poland MAP



ワルシャワ:旧王宮広場



クラクフ:織物会館

### ワルシャワ

第二次世界大戦による破壊から不死鳥のごとく蘇った緑豊かなポーランドの首都。中世の街並みを感じさせる佇まいを残す旧市街地区、そして至るところにある戦争被害者の碑にこの国の歴史の重みと市民たちの心を感じます。シヨパンやキュリー夫人ゆかりの地として有名です。

### クラクフ

「ポーランドの京都」と呼ばれる美しい古都。ポーランド第二の都市であり、第二次大戦の戦火を免れた中世そのままの姿を残す城壁に囲まれた街です。旧市街はユネスコ世界文化遺産に指定され、コペルニクスが学んだヨーロッパ最古のヤギューオ大学に象徴されるように学問の都でもあます。

### ポーランド基本情報

- 正式名称:ポーランド共和国 Republic of Poland
- 首都:ワルシャワ
- 人口:約3,768万人(2023年)
- 面積:約32.3万km<sup>2</sup>
- 宗教:カトリック
- 言語:ポーランド語
- 通貨:ズウォティ(PLN/Polish Zlotych)
- 気候:大陸性気候で、はっきりした四季があります。3月はまだ寒さが続いており、服装ではセーターやジャケットが必要です。春の訪れは5月半ば~5月後半で、6月は春~初夏の気温になり、過ごしやすい気候です。ただ朝晩は冷えますので、長袖の上着は必要です。

ポーランドの国鳥は鷲



ポーランド音楽と民族衣装

## 旅の醍醐味 食!

### ポーランド料理

牧畜が盛んなポーランドでは肉料理が美味しいことで有名です。スープの種類も豊富で発酵したライ麦を使った酸味のあるジューレックは日本人の口に合います。餃子がロシアを経て伝わったピエロギや肉や野菜などを煮込む家庭料理ビゴスもあります。



ジューレック



赤カブのスープとピエロギ